

お口の

健康情報室

世の中のデジタル化が急速に進み、歯科技工物の製作方法も変化してきました。白い歯のかぶせ物や詰め物は従来、歯科技工士の手によって作られてきましたが、今ではコンピューターが利用されています。

現在、用いられているのは、「CAD(キャド)/CAM(キヤム)」というシステムです。スキャナーと呼ばれる装置を使ってコンピューター

詰め物 自然な見た目

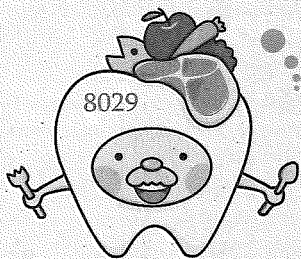
に取り込んだ画像をもとに、樹脂のブロックを加工機械で削って作ります。このシステムで作られた白いかぶせ物や詰め物は「CAD/CAM(キヤドキヤム)冠」と呼ばれ、保険も適用されます。

金属とは異なり、歯の色に合わせて白い素材を使うことができます。加工機械を使うため、短期間で製作することが可能で、金属アレルギーの心配もありません。

しかし、CAD/CAM冠にも欠点があります。時間の経過とともに変色、着色しやすさという傾向があります。強

度では、金属よりも劣ります。かみ合わせなどの問題で、CAD/CAM冠が選べないケースもあります。白い詰め物などでの治療を希望される場合は、かかりつけの歯科医院によく相談してください。

(千葉県歯科医師会)



「8029 運動PRキ
ャラクター」もぜひ